



# くらしの情報

## 平成28年度 消費者のつどい

10/21

### 西部地区

10月21日、鴨島公民館、江川わくわくホールに於て、約190名の参加のもと、西部地区消費者のつどいが盛大に開催されました。3協会の活動報告につづいて、税理士・富永徹也氏による「マイナンバーGO」～今から始まる本当のマイナンバー～講演があり、制度のメリットデメリットなど、有意義な会となりました。（鴨島町消費者協会）



10/29

### 南部地区

平成28年10月29日、南部地区のつどいを勝浦町で開催しました。作品展示、バザーでは、人々が集まり情報交換の場になり、調査研究他活動発表では、くらしの知恵を頂きました。講演では、勝浦のビッグひな祭りをリオ五輪に展示した時の貴重なお話を聞いて頂く事ができました。ご参加頂いた皆様、有難うございました。（勝浦町消費者協会）



11/22

### 北部地区

11月22日鳴門ボートレース場、なるちゃんホールにて、160名参加の消費者のつどいが盛大に開かれました。記念講演は、ひまわり劇団による「振り込み確認・安全確認」が熱演されました。おわりにみなさんで「ひまわり音頭」を唱和して、みのりある研修でした。（鳴門市消費者協会）



11/25

### 東部地区

東部地区消費者のつどいは石井町消費者協会が担当し11月25日に130名余りの参加者のもと盛大に開催された。消費者庁を徳島へというお話や各協会とのつながりを深めたよい時間だったと思う。ご協力いただいたみなさま本当にありがとうございました。（石井町消費者協会）



## 徳島県は「消費者行政新未来創造オフィス」の開設を歓迎します

昨年9月1日に、まち・ひと・しごと創生本部により、徳島県に設置することが決定されました。この「新オフィス」は、消費者庁の全面移転に向けた「第一歩」となるものであり、国や国民生活センターの職員はもとより、自治体や、企業、学術機関などからの「多様な人材」で構成され、今年7月頃、県庁10階に、50人規模で開設される予定です。

この「新オフィス」では、

- 「消費者被害」や「消費者行動」の理論的・先進的な調査・研究
- 「食品ロスの削減」や「エシカル消費」などの全国展開を見据えたモデル・プロジェクト
- 「テレワーク、ペーパーレスの推進」による「消費者庁の働き方改革」

など、これまで「霞が関ではできなかった取組み」を行います。

これらは「徳島を実証フィールド」とした取組みで、「現場感覚に裏付けられた成果」を生み出します。この成果は、本県の消費者行政・消費者教育の更なる向上と、県民が安全・安心を実感できる消費生活の実現に寄与するとともに、消費者行政「発展・創造の先駆的モデル」として、「全国へ発信・展開」される事が、大いに期待されます。徳島県は、「新オフィス」の開設を心から歓迎し、その運営が円滑かつ効果的に行われるよう、全力でサポートして参ります。

（徳島県県民くらし安全局）

発行 ● 特定非営利活動法人徳島県消費者協会

TEL(088)625-8285(代) FAX(088)625-8312 E-mail nposhouhi@eagle.ocn.ne.jp



## 鴨島町

鴨島町消費者協会では、毎月第一木曜日に定例会を開催し、主な活動として春と秋には市の総合相談に参加、振り込め詐欺防止活動、マイバッグキャンペーン、一日研修には森永乳業神戸工場と大阪水上バス、料理講習やレジ袋調査、一日体験学習等も行っていきます。又食品ロスに関するアンケート調査を行い160人中140人の回答があり、「食品ロスという言葉を知っていますか」という問いに106人が知っていると回答。食べられるのに廃棄される食品が一般家庭からは、約50%（300万トン以上）になるといわれています。一人ひとりが自覚し、ロスを出さないようにすることが大切であると考えます。今後も会長を中心に、安心して暮せる地域づくりを目指していきたいと思います。（仁木島シゲ子）



## 藍住町

平成28年度の総会を4月18日に開きました。5月には毎年恒例の「めんつゆ」「ごきぶり団子」を、6月には「焼肉のたれ」を作りました。ごきぶり団子は夏に向けて好評です。10月にはアサヒビールと今治タオル美術館へ研修に行ってきた。色鮮やかな様々なタオルが所狭しと飾ってありました。年金支給日の10月14日、ゆめタウンのATMの前で板野署の方と藍住町のキャラクター「藍のすけ」と一緒に振り込め詐欺防止のキャンペーンをし、ティッシュとパンフレットを配布しました。通る人が足を止めて話に耳を傾けてくれ、関心の深さを感じました。1時間余り啓発活動をし、会員の絆が深まった様に思いました。（正木 寿枝）



## 阿南市那賀川町

5月18日那賀川町名産のわかめの茎で佃煮づくりとゴキブリ団子づくりをした。JAの作業場に朝早くから会

員21名が茎を細く切ったが、あまりにも多いので、終わりが見えない。この茎は前



日から水に浸して2回ほど水をかえると膨らんで量が増え塩が抜ける。大きな鍋で煮てパックに入れ、一人6パックを100円で購入した。この佃煮は冷凍保存すると1年過ぎても美味しくいただける。自分達で作ったものを持ち帰る時はルンルン。（二宮 雅子）

## 牟岐町

梅の花が咲き出す頃になりました。私達の活動も、できることは何があるかと考えてみました。年間を通して続けられる事はリサイクル。家庭からペットボトル、缶のタブ集め、集計結果から考えられることは後で考えていく。不用布の活用、手芸に興味のある方、誰でも参加できるグループサークル、友が友を呼び垣根をこえた仲間づくり、完成した作品の満足感。次は何を作ろうか意欲が生まれる、皆ですると楽しい。そんな時間が大切な様な気がします。先日、ホテル千秋閣のテーブルマナーを学ぶプランに参加し、楽しい和食料理のマナーを映像と説明で、ひと皿ひと皿ゆっくり口に運ぶ食事をホテルの部屋で時間をかけて、ゆったりしたおもてなしをしていただきました。長距離送迎にみんなが感謝ありがとうございます。（日高 琴美）



## 阿波市吉野町

阿波市吉野消費者協会では、2月17日に森永乳業KKの藤川三世先生の料理教室を27名の参加者で行いました。料理名は①クリープハンバーグ②オイルサーディンのサラダ③レモンカードのミルクプ



ンの3品作りました。まず実習の前に講師先生が説明をしながら作って下さり、その後4班に分かれて調理。さすが皆さんベテラン揃いで手早くとても美味しく出来上りました。試食しながら先生から骨粗鬆症にならない為にカルシウムの取り方を指導下さいました。(露口 幸子)

## 板野町 振り込め詐欺に注意!! キャンペーン

年金支給日の4月15日と10月14日、阿波銀行・徳島銀行・郵便局前で、来訪者に「振り込め詐欺に気をつけてください。」と声をかけながらリーフレットを手渡しました。「ありがとう。」と応答



してくれる人、無口で受け取る人、様々でした。10月21日、町消費生活相談所主催の「おさいふ学ミニ講座」に会員が参加しました。「特殊詐欺の現状」と題して板野警察署の方が講演と寸劇をして下さいました。犯行の手口が巧妙になっていることが分かりました。

(佐藤 貴子)

## 上勝町

今年も胸がワクワクする季節となりました。桜の花と山々の緑がとっても美しいですよ。田舎といえ最近では各家々に車道がついて大変便利になりました。反面不審者、訪問販売等で訪れる車も沢山あります。

又電話では振り込め詐欺の言葉巧みな手法でかかってきます。



キャンペーン又マスコミ報道でよく分かっていますが本当にだまされそうになりがちです。私も老人宅を訪問した時にはいつも注意を呼びかけています。私自身も以前経験しました。忘れた頃に災難はやって来るかもしれません。今年では会員同志の親ぼくをはかると共に少しでも活動出来たらと思っています。(井岡五十恵)

## 勝浦町

現在、井戸端塾という団体がビッグひな祭りのひな人形のかざり付けの真最中です。これも考えてみれば一つのリサイクルではないかとも思います。家でもう飾らなくなったおひな様を、飾らせて頂いている。そうする事で届けてくれた人も喜んで頂く。又私達も町づくりのお手伝い出来る。消費した物がどこかで役にたっている。かたづけ上手は捨



て上手という言葉がありますが、「消費する者は後始末も上手にしなければいけない」「いらぬ物は買わない」これも消費者の務めではと思います。又見に来て下さい。おまちしています。

(森本 悦子)

## 徳島広域

当協会は、本年も例会は年2回、研修、親睦会は2回を予定。1年間を通じ多種多様な活動に取り組んでいます。これ



於 明石城

からも当協会のスローガンである、楽しく学び賢い消費者として何事にも関心、感動、感謝の精神で市町村に

関係なく地域を越えた協会として活動していきます。(榮 信博)

## やまもも

昨年の10月に石井町ボランティアフェスティバルにブースを借り参加しました。石井町消費者協会の方と一緒にチラシ、ティッシュを配りながら悪質商法等のお話させていただきました。又、12月には2度目の県下一斉振り込め詐欺防止キャンペーンを石井署や地域防犯の方、石井町消費者協会の方と合同で行ないました。マイバッグキャンペーンには、地域老人会や趣味の会の方へ個々にお話させて頂きました。マイバッグの必要性を知らない人が多くなった様に思います。年1回でも、持続のある活動が大切だと痛感しました。(山本 加代)





近年の食品の加工技術の著しい進歩やその流通経路の複雑化により、様々な製造・加工・流通過程を経た食品が食卓に並んでいます。

これら過程が複雑多岐にわたるほど、その食品について「どのような工程を経たものなのか」、「どのように管理しているものなのか」がイメージしづらくなり、このことが消費者の皆さまには、様々なメディア上に氾濫する偏った情報や不確かな情報に惑わされたり、漠然とした不安感に包まれることに繋がっているのではないのでしょうか。

そうした中、消費者の皆さまや食品関連事業者、行政機関などが互いに意思疎通を図り、食の「安全」「安心」についての正しい情報を共有し、相互理解や信頼関係を深めることを目的とした「リスクコミュニケーション」の重要性がますます高まっています。

県では、様々な機会、様々な形で「リスクコミュニケーション」を企画・開催をしているところですが、その一環として、消費者の皆さまが実際に製造・生産現場を見ながら、食品関連事業者と意

見交換を行う「体験型リスクコミュニケーション」や食品関連事業者自らが企画・運営する「事業者発信型リスクコミュニケーション」を実施しています。

本年度につきましても、「JAXAの方と宇宙食を作る技(ハサップ)を学ぼう!」や「昔ながらの醤油づくりを見に行こう!」などを実施し、多くの皆さまにご参加いただきました。

「百聞は一見にしかず」と言いますが、実際に現場を見ていただきながら、食品関連事業者と意見交換をすることで、食品関連事業者の製品に対する考え方や製造工程の管理方法についてより理解が深まるとともに、消費者の皆さまの質疑や意見など生の声が、食品関連事業者や行政機関に届けられることにより、相互理解と信頼関係の構築が図られたのではと考えているところです。

これからも、「消費者目線」「現場主義」をモットーにこのような機会を積極的に設けてまいりますので、多くの消費者の皆さまのご参加をお待ちしております。

### 情報掲示板

徳島県消費者情報センター

#### ●「試供品」に気をつけて!

「昨日、体に良い健康食品が千円で試せると電話があり承諾してしまったが、よく考えると不要なので断わりたい。」との相談が寄せられました。

健康に不安を感じる高齢者に、無料や数千円程度の比較的安価な「健康食品の試供品」を勧める電話が増えています。試供品だけと思っても、後日の高額な健康食品の勧誘につながります。必要がなければ、はっきり断りましょう。

また、断りきれずに健康食品を購入してしまった場合は、電話勧誘販売にあたり、契約書面の受領後8日間以内はクーリング・オフができます。(メールマガジン12月13日配信)

12/7

#### 一日研修旅行(調査研究部員参加)



天候にめぐまれた12月7日、私たちの日常生活を支える製品の原料を製造している「旭化成ケミカルズ水島製作所」を見学、昼食後は倉敷の美観地区を自由に散策しました。帰路のバスの中では創作漢字クイズをし、大いに盛り上がり、楽しく有意義な研修となりました。

## 平成29年度 行事予定

#### ●第14回2017消費者まつり

- と き:平成29年5月27日(土)
- ところ:とくぎんトモニプラザ(徳島県青少年センター)
- ・講演 演題:「いろいろによる地域活性化」(仮)  
講師:株式会社 いろいろ  
代表取締役社長 横石 知二氏
- ・消費者宣言 消費生活分野 平成28年度消費者大学卒業生  
環境分野 マイバッグガールズ  
食生活分野 藍住町消費者協会
- ・その他

#### ●NPO法人徳島県消費者協会総会(正会員のみ)

- と き:平成29年5月23日(火)
- ところ:とくぎんトモニプラザ(徳島県青少年センター)
- ・記念音楽会

#### ●徳島県消費者大学校(募集:60名程度)

- と き:平成29年6月17日(土)~8月5日(土)の間8回
- ところ:とくぎんトモニプラザ(徳島県青少年センター)

#### ●徳島県消費者大学校大学院(募集:40名程度)

- と き:平成29年8月19日(土)~9月16日(土)
- ところ:とくぎんトモニプラザ(徳島県青少年センター)